

瓊水

瓊のように清く 鉄のように強く
手をつなぎ のびる北っ子

校長 田崎俊一郎



修学旅行に行ってきました！

実りの秋です。「秋」の語源にはさまざまな説があるそうですが、中でも「飽き」という説が有力とのことです。収穫の季節、この季節だけは食べ物があるということです。さんまや栗やマツタケ…秋ながらの食べものを楽しみたいです。

さて、北小の活動の中にも秋を感じさせるものがたくさんあります。秋は旅行をするにもよい季節ですが、先週6年生は長崎市に修学旅行に出かけてきました。今年度の目的地は、武雄市と長崎市です。

出発の朝、子どもたちには、今年度の北小テーマ「自律」「協働」「創造」の3つを意識して修学旅行にのぞんでほしいと話しました。さて、この修学旅行で3つのことは意識されていたでしょうか？

「自律」…とても楽しみにホテルでの夕食のこと。テーブルにはおかずごとにお皿にまとめて置いてあります。「いただきます」の挨拶の後、ごはん、ちゃんぽん、デザートなど自分たちで分担してさっさと配膳する班もあれば、人がついてくれるのをじっと待っている子もいます。ホテル出発の朝、部屋をみると、ふとんやシーツまでしっかり整理し、スリッパの向きまでそろえている部屋もありました。そうかと思うとなかなか整理できていない班もあります。自律とは、自分で規範を打ち立て、それに沿って行動できることです。何がその時に求められているのかをまずはしっかりと考えることが大切です。気づける子どもたちを育てたいです。

「協働」…計画をしっかりと立ててのぞんだ自主研修。しかし、平和学習が大幅に延びてしまい、スタート時間が遅れてしまいました。各班、予定した見学先にすべて行くのは難しいようでした。子どもたちは、リーダーを中心に話し合い、時間内に行ける場所に急遽変更。こんな時こそ「協働」して解決する力が求められます。どの班も時間内に集合場所に戻れたことから、他の人とよく話し合い行動することができたようでした。困難にぶつかったときにこそ、他の人と協働する力が必要です。



「創造」…新しいことを生み出すには、物事をよく知り、多くの知識を身に付ける必要があります。どの見学先でも子どもたちは熱心に学びを深めていました。特に、平和学習では、平和ガイドさんからとても詳しい説明を聞くことができ、戦争の悲惨さ、平和の大切さをとても身近な問題ととらえることができました。これらの理解をもとにして、これからの平和を、自分たちが創り出していこうとする意欲が十分に高まったと思います。

多くの学びを得ることができた修学旅行となりました。きっと6年生はこの体験を今後の学校生活に生かしてくれると期待しています。